

第2回中種子チャレンジ・キッズ 中央公民館で活動

6月20日に、第2回中種子チャレンジ・キッズが開催されました。
当初予定していた海での活動は悪天候により中止となり、中央公民館大ホールで、じゃんけん列車やドッチビー、ボッチャを班対抗で行いました。
上級生がリーダーシップを発揮しながら、参加者同士が競い合い楽しい時間を過ごしました。



こんにちは！大先輩たち 南界園を訪問



6月11日に南界小学校の児童たちが南界園を訪問しました。
児童たちが、歌やダンスを披露し、校歌を元気いっぱい歌うと、南界小学校卒業生の方々も懐かしそうに口ずさみ、一緒に歌う姿が見られました。
児童たちのパフォーマンスに施設の方々から笑顔が溢れ、児童たちは、地域とのつながりの大切さを改めて学ぶことができました。

地域おこし協力隊通信 (No. 114)

こんにちは！地域おこし協力隊の鈴木雅也（すずきまさや）です。今月号は私が担当します。
先日、生まれて初めてロケット（H3ロケット6号機）の打上げを目の当たりにして、圧倒されてしまいました。今回視察という形で、種子島宇宙センターの敷地内で打上げの概要を関係者からご説明いただき、その後、打上げを見ることが出来るといふ贅沢な体験をさせていただきました。打上げ直前に館内でカウントダウンが進んでいく緊張感、そして轟音（足から心臓の付近まで震えていました。）とともに白煙が広がり、巨大なロケットが天へと昇っていく様子に思わず声を失いました。
しかし、私が最も心を動かされたのは、打上げ前のことでした。打上げの概要説明の際に、技術関係者の方が「もうやり残したことはない。あとはみんなと一緒に祈るだけ」とおっしゃっていたのが印象的でした。この方の覚悟がにじみ出ている一言に、とてもかっこいいと思いました。そして打上げ成功の瞬間、関係者が集まる部屋を映したモニターには、互いに

抱き合い、感極まっている関係者の姿が・・・

ロケットの打上げ自体は、島の皆さんには見慣れた光景かもしれませんが、移住者の私は初めてであり、感動の連続でした。また今回は多くの関係者がいる場所での視察だったため、1機のロケットに懸ける様々な思いにも触れることができました。
「宇宙に一番近い島」に暮らし、いるということを、改めて実感した一日でした。

ちなみに、8月7日に打上げを予定しているロケットには準天頂衛星「みちびき7号機」が搭載されています。これは日本産の測位衛星で、より精度の高いスマート農業やドローン、防災サービス等、私たちの暮らしをより豊かにする様々なサービスへの活用が期待されています。

今回は種子島全体の話題ですが、引き続き、中種子町の魅力をSNSで発信するよう頑張っています。今後ともよろしくお願いたします。

